

インバウンド観光の推進に向け 辻調理師専門学校と相互連携

9月15日、本市と学校法人辻調理学館（辻調理師専門学校・辻製菓専門学校）は、自治体と教育機関の協働による国際化人材の登用およびその育成モデルを確立し、インバウンド観光の推進を図ることを目的に包括連携協定を締結しました。

城崎温泉では、旅館を支える料理人の不足、辻調理学館では料理を学んだ留学生の日本での就職に課題を抱えています。今回の協定締結により専門教育を受け技術を持った料理人、かつ語学能力の高い外国人留学生が登用されることにより、本市の課題解決につながる事が期待できます。

《問合せ》大交流課 ☎21-9016



▲協定書を手にする、辻調理師専門学校校長の辻 芳樹さん(右)と中貝市長

小中学校のあり方 意見交換会開催

小中学校の適正規模・適正配置の考え方や再編の具体的な枠組み案（素案）について、意見を聞かせていただくための会を、保護者向けと地域向けに分けてそれぞれ市内6会場で開催しています。9月23日から10月6日まで開催した保護者向けの意見交換会では、延べ240人の参加があり、保護者としての思いや、少子化による不安等、多くの意見が出されました。13日から29日まで開催する、地域住民向けの意見交換会の結果とあわせて、今後、審議会の中で議論していきます。

《問合せ》教育総務課 ☎23-11117



▲子どもたちの将来を考え、意見を交わす保護者ら(日高地区コミュニティセンターで)

市政 ニュース

主な市政の動き

【9月】

- 15日・辻調理学館との包括連携協定締結
- 23日・第1回ジェンダーギャップ解消戦略会議
・これからの小中学校のあり方を考える意見交換会【保護者向け】(10月6日)
- 25日・女性のためのキャリア支援プログラムの開催(28日・全3回)

【10月】

- 3日・第24回伊藤清永賞子ども絵画展表彰式および展覧会(12日)
- 4日・第29回全国中学新人競漕大会(オンラインエングマシ大会)開催
- 7日・防災学習会(コロナ禍をふまえた防災を考える)
- 8日・豊岡市戦没者追悼式
・豊岡市感謝状贈呈式

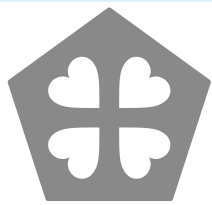


※掲載している情報は編集時点(10月15日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

女性にとっても働きやすく働きたいのある事業所を表彰します！

本市は、女性も働きやすく、働きたいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップの解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消に取り組んでいます。この度、女性にとっても働きやすさや働きがいなどが高い水準に達している市内事業所を表彰する制度「豊岡市ワークイノベーション表彰（愛称：あんしんカンパニー2020）」を創設しました。優れた事業所を表彰することで、他の事業所が事例を参考にし、変革に取り組むことを促し、社員採用活動時の訴求力の向上、事業所の経営者、従業員の自信、誇りに繋がることを期待します。表彰は審査を経て年度内に行う予定です。

《問合せ》ワークイノベーション推進室 ☎21-9004



あんしんカンパニー2020

▲各事業所の「場所」を意味する五角形の中で何人も現れる人が温かく集う姿を表現したロゴマーク（マークカラーはオレンジ色）

青パトで守る安全安心な暮らし

パトカー風の白黒ツートンカラーに塗装した青パト（青色回転灯装備車）を新たに配備したことを周知するため、9月17日、本市の青パト7台と補導委員の車両6台が集合し、防犯パトロールの出発式を行いました。

防犯パトロールは市職員および豊岡市青少年補導委員協議会の皆さんによって行われており、青パトでの巡回により犯罪の発生を抑制し、安全安心なまちづくりが進むことが期待されます。

出発式の前には、めぐみ幼稚園の園児たちが豊岡南警察署の署員から防犯についての話を聞き、真新しい青パトの車両を見学しました。

《問合せ》生活環境課 ☎21-9122



▲青パトの車内に興味深々な園児たち

中貝市長の徒然日記 ⑬

彼岸花の話

彼岸花。秋の彼岸の頃に伸びてきて、花を咲かせます。「赤い花」という意味のサンスクリット語の音を写して、曼殊沙華とも呼ばれています。

秋、新円山大橋から下流側の円山川右岸堤防で、数百mにわたって咲き誇りました。左岸側もちらほら見えました。自転車通勤の途上で見つけ、しばらく見惚れました。

いったい、誰がこんなことをしてかしたのでしょう？ 市の職員に尋ねてみました。

3年前、熱心に保護をされている方から、地元市議を通じて「いつの頃からか堤防に彼岸花が咲き出した。除草の時期をずらせば群生が見られるようになる。国土交通省に頼んでほしい」という要望が市役所にありました。

通常、国交省の除草は、出水期前の5月と出水期後の10月に、堤防点検のために実施されます。その10月の除草点検を、あの区間だけ9月初めに実施すると他の草は刈り取ら

れ、彼岸に合わせ彼岸花だけがすくと伸びて花を咲かせる、という仕組みです。

国交省豊岡河川国道事務所の粹な計らいで、のり面が一面、真っ赤に染まりました。

そう言えば、いつの頃からか、円山川の同じあたりで、水鳥が群れをなして泳ぐようになりまし。今やすっかり冬の風物詩になっています。

30年ほど前、当時県会議員だったほくのとこに、県の豊岡土木事務所長が来られ「円山川を銃猟禁止区域にする活動をします。私は、これまでに趣味の鉄砲でたくさんの生き物の命を奪ってきました。せめてもの償いです。」

鉄砲が禁止されると、どうして分かったのか、水鳥が押し寄せるようになりました。

ほとんど誰も知らない人々の行いで、私たちは今、彼岸花が咲き乱れる光景に息を飲み、水鳥が浮かび、羽ばたく光景を楽しむことができます。

アンサンブル・ヒーロー。褒め称えられることのないヒーロー達。感謝の言葉もありません。でも、心からの感謝を。